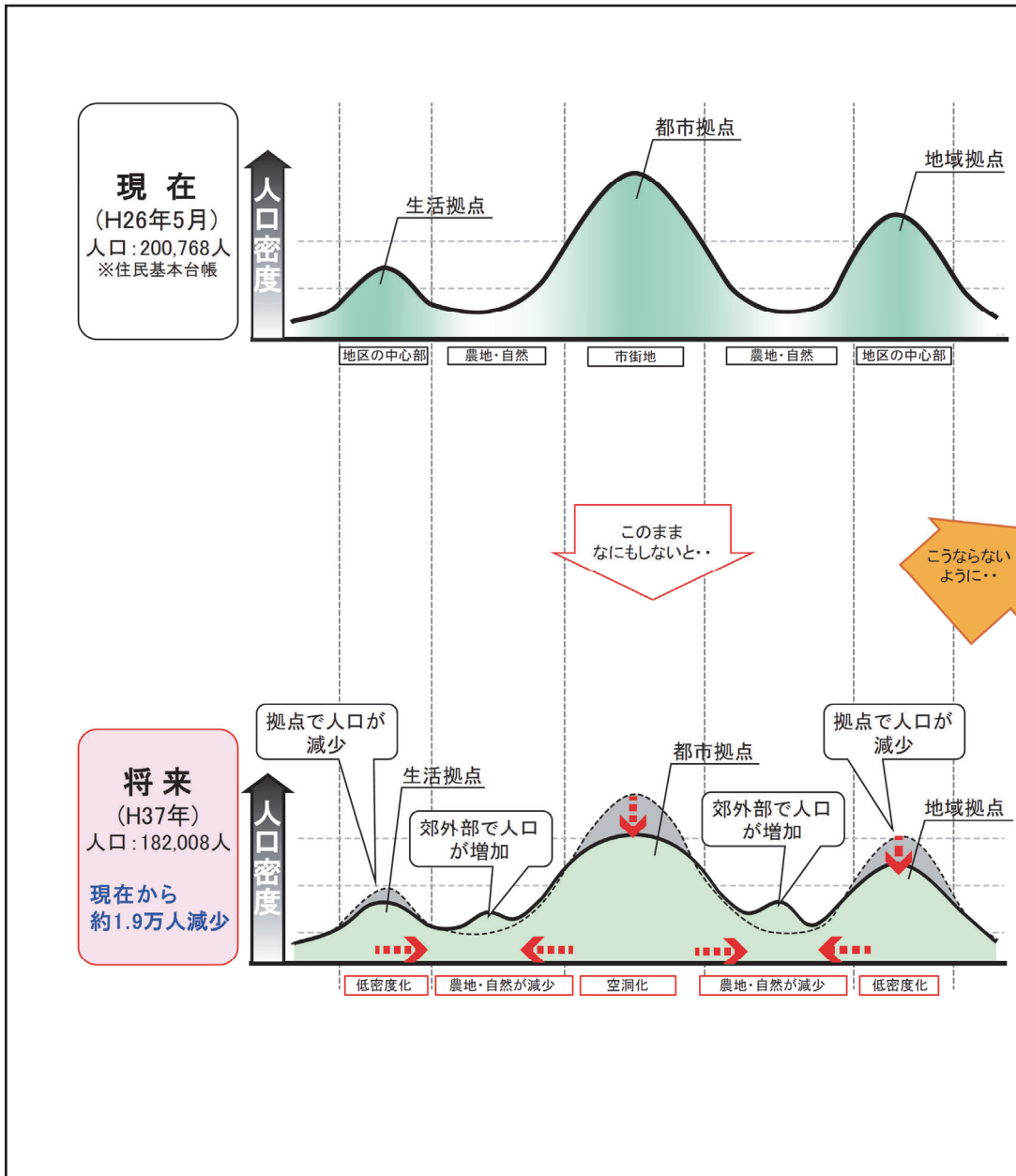


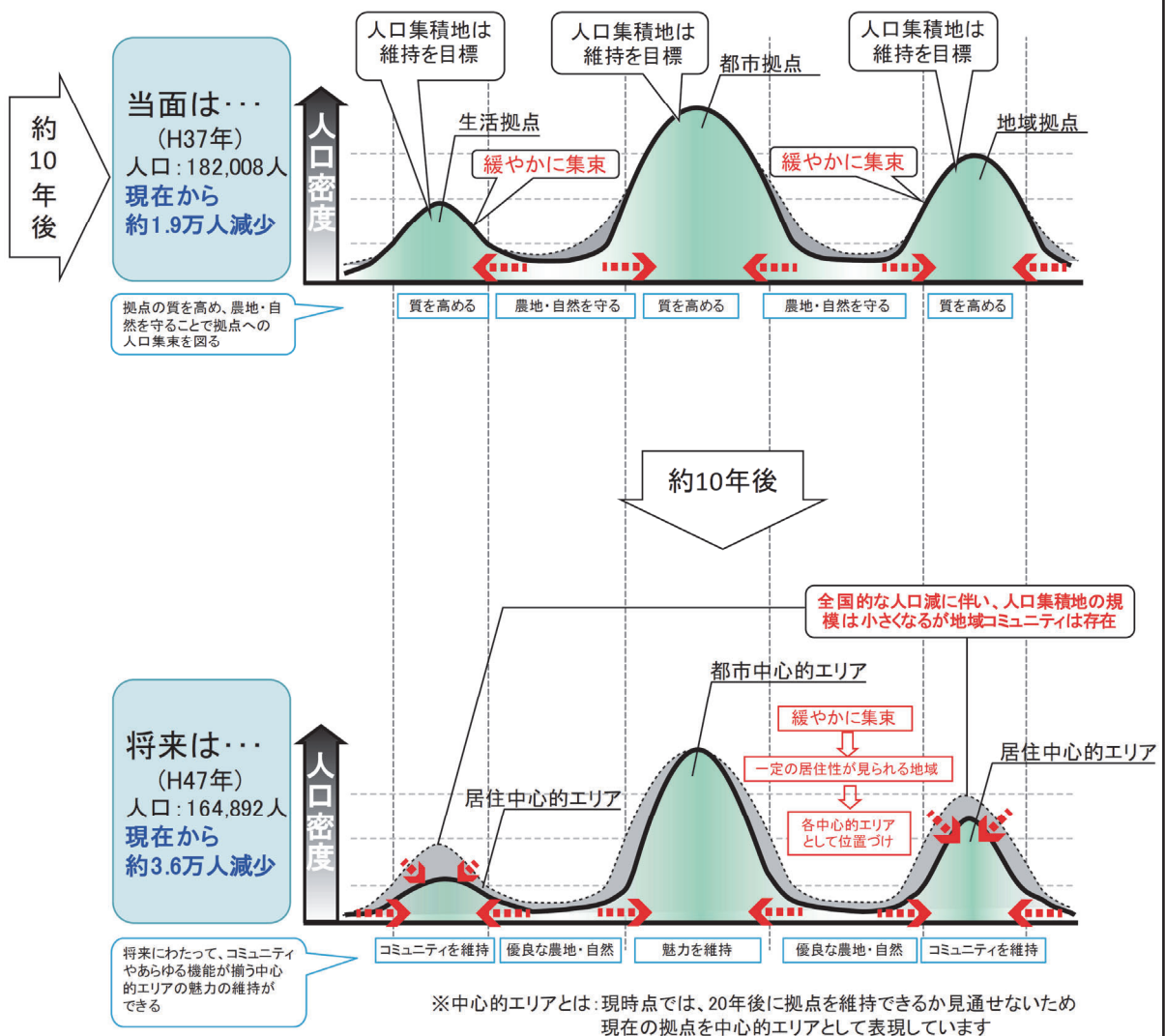


第3章

全体構想

- 市民が居住地を選択できるようにしながら緩やかに集束を図ります。
 - ・各地域の中心部などに住みたいと思える市民を増やして住替えを促進します。
- 人口減少・高齢化により都市の規模が現実的に小さくなることから、緩やかに集束し、一定の居住性が見られる地域を中心的エリアとして位置づけます。





線 人や物の移動を支える交通ネットワークの構築

1) 基本的な考え方

- 市内外の人や物の移動を支える総合的な交通ネットワークを確保・形成し、生活利便性の向上と地域産業の活性化を目指します。
- 地域の実情に即し、効率的で利便性が高く、環境負荷*の低い公共交通体系の構築を目指します。
- 降雪期にも安全な移動を確保できる交通環境の形成を目指します。
- 拠点と市外、拠点と拠点、拠点と地区内の集落などのそれぞれの間の移動が便利で安全にできるよう、交通ネットワークを「広域ネットワーク」「拠点間ネットワーク」「地区内ネットワーク」に分け、「人や物の移動を支える交通ネットワーク」の構築を目指します。

①広域ネットワーク

- ・広域ネットワークは市外や県外との広域的な移動と交流・連携を支える役割を担います。
- ・高速道路、地域高規格道路、国道などの整備促進と、航路、鉄道、高速バスなどの公共交通の安定的な運行の確保や利便性の向上を図ります。

②拠点間ネットワーク

- ・拠点間ネットワークは各拠点間の移動と交流・連携を支える役割を担います。
- ・拠点を円滑に移動できる国道、県道などの確保を促進します。
- ・拠点を移動する鉄道、バスなどの公共交通の安定的な運行の確保と利便性の向上を図ります。

③地区内ネットワーク

- ・地区内ネットワークは拠点と地区内の集落の間の移動と交流・連携を支える役割を担います。
- ・身近な生活道路*とバスなどの公共交通の確保を図ります。



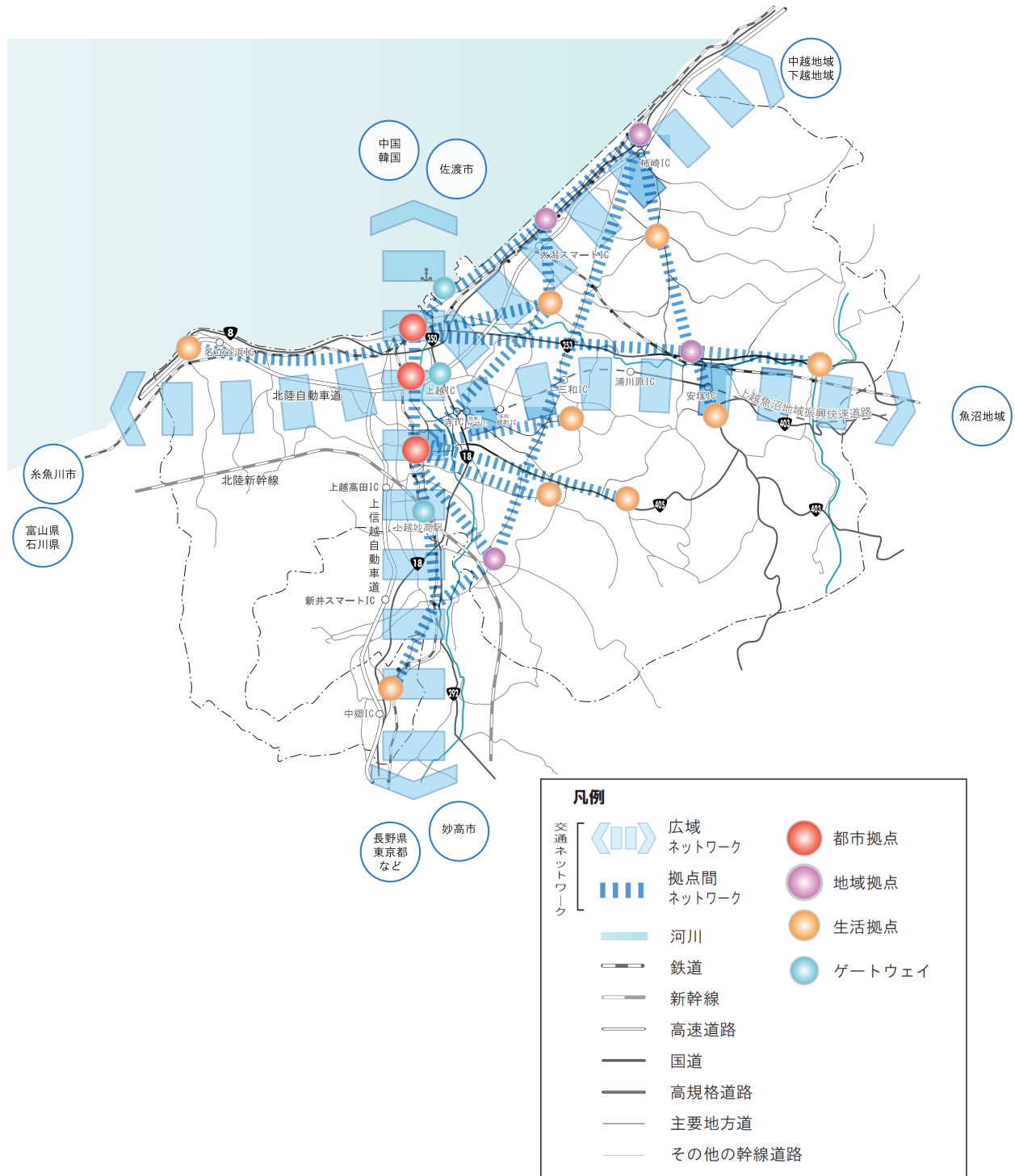
2) 交通ネットワークの位置づけ

人や物の移動を支える機能を踏まえ、以下の3つの交通ネットワークを設定します。

表 交通ネットワークの位置づけ

都市構造 の名称	機能	交通ネットワークを担う道路・公共交通		
		道路	公共交通	
広域 ネット ワーク	広域的な交流・連携 を支える	広域的な交流を支え る主要国道、高速道 路など	国内外の広域的な交 流を支える鉄道、航 路などの公共交通	例：北陸新幹線、信越本線、 えちごトキめき鉄道、 フェリー航路、高速バ スなど
拠点間 ネット ワーク	各拠点間の交流・連 携を支える	各拠点間を結ぶ幹線 道路	拠点間を結ぶ鉄道、 バスなど	例：信越本線、妙高はねう まライン、日本海ひす いライン、ほくほく線、 幹線バスなど
地区内 ネット ワーク	拠点と周辺集落の 移動を支える	日常生活を支える生 活道路	拠点と周辺集落を結 ぶバスなど	例：デマンドバス、乗合タ クシーなど

将来都市構造図（交通ネットワーク）



※道路：実線は現状
点線は計画・構想



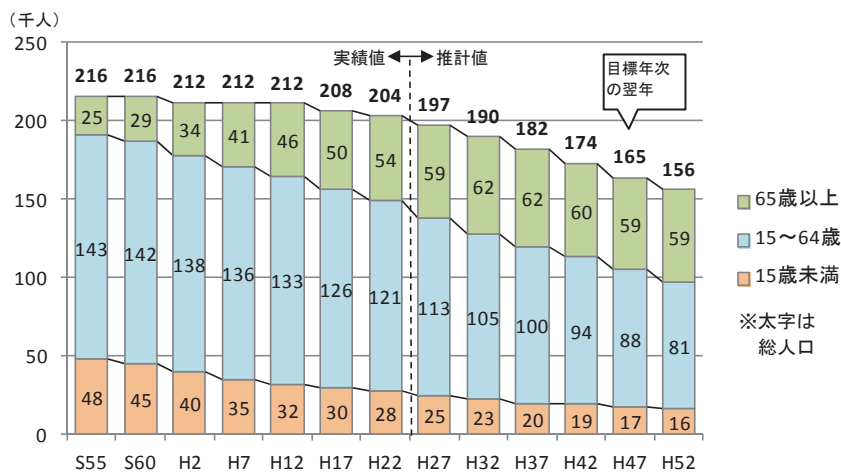
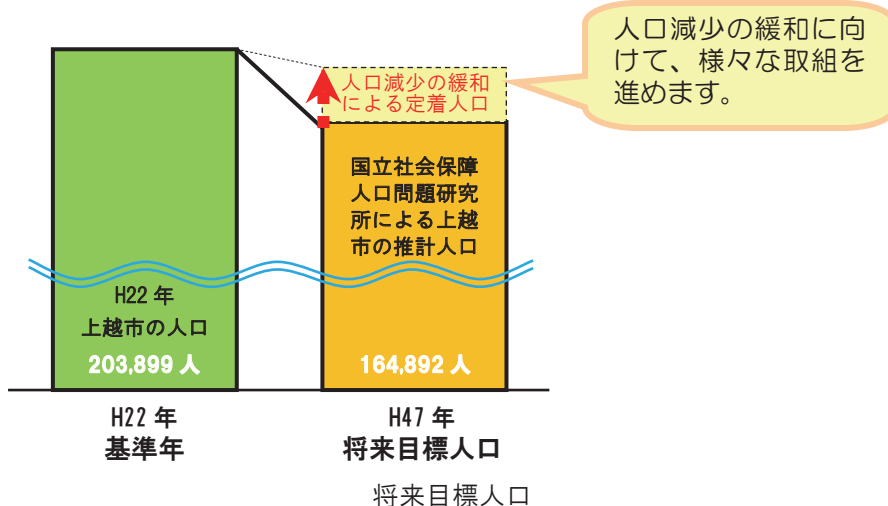
3 将来人口・産業の見通し

(1) 将来人口

人口減少・高齢化の傾向は避けられないということを前提としつつ、人口減少の影響を少しでも緩和することを目指したまちづくりに取り組みます。

今後、少子化・高齢化がさらに進み、平成47年の人口は約16万人(平成22年人口の約20%減)、そのうち65歳以上の高齢者の割合は3人に1人(全人口の約36%が高齢者)となることが予想されています。

このことから、人口減少・高齢化の傾向は避けられないということを前提としつつ、人口減少の影響を少しでも緩和することを目指したまちづくりに取り組みます。



〔 出典：実績値—国勢調査
推計値—国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」 〕

将来人口の見通し

参考：国立社会保障・人口問題研究所による上越市の将来推計人口

第3章 全体構想

(2) 産業

広域交通の要衝としての交通機能の充実を活かして、企業誘致や既存の地域産業の活性化に取り組み、地域の雇用や産業規模の維持・促進を目指したまちづくりに取り組みます。

北陸新幹線の長野～金沢間の開業や上信越自動車道 4 車線化などに伴い広域交通体系が充実することから、産業の立地誘導に取り組み、産業集積を高めることが大切です。

さらに、直江津港周辺の LNG*火力発電所や LNG*基地の稼働、上越沖メタンハイドレート*の開発などによるエネルギー港湾*としての重要性の高まりが期待されています。

このようなことから、既存の地域産業の活力の維持や新たな産業の創出などにより、現在の産業規模を維持・促進していくことを目指してまちづくりに取り組みます。